



会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 入退院調整部会	
開催日時	平成29年9月14日(木) 開会； 18時30分・閉会； 19時15分	
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員)氏名	西川瑞穂、新井孝幸、池畑信正、植山直人、清水泰治、池畑利宏、江田久子、桜井徹也、高橋 梓、青木 隆、武藤直輝、仲上由佳、渡辺直子、野口清美、川島 治、溝上俊亮	
欠席者(委員)氏名	今村寿子、青山真弓	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	在宅療養高齢者における、入院時及び退院時の調整ルール及び調整ツールについて	
会議資料	(資料名・概要等)	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名押印	
29年10月12日	新井孝幸 西川瑞穂	 

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
川島会長	<p>医療介護連携をやってからの事業で、そのうち「切れ目のない在宅医療と介護サービス提供体制の構築」、ここが皆さんにお願いしたい事業の一つです。「入退院調整と切れ目のない連携」、ここを議論したいと考えています。</p> <p>行田市は埼玉県で、消滅可能性都市第2位。後、20年のうちに人口の減少によって行政サービスが立ち行かなくなり、行田市は消滅する。これに対し、地域包括ケアも医療介護連携も前例がないので、行田市の行政の方は明確なビジョンが示せないですから、参加している皆さん、現場の知恵や市民の意見を出して頂き、年を重ねても安心して住み続けられる「わがまち行田」の構築のため、行政の皆さんや行田市民をリードしていく気持ちで、ぜひお願いしたいと思います。</p> <p>注意事項としては、議事の進行は協議会の委員二人、西川委員と新井委員が務めます。会議時間は45分間、円滑な議事進行をお願いいたします。1時間経ちますと次のワーキンググループが始まります。テーブルについている参加者皆さんの発言は自由ですが、他の部会の方は原則聴講のみでお願いいたします。ご意見がある場合は、個々に前にいる委員に言ってください。ワーキンググループでの呼称は「委員」で統一という事でお願いいたします。本日はよろしくお願いいたします。</p>
西川委員	<p>議事進行に移りたいと思います。まずはお手元に名簿があるとしますので、自己紹介をお願いいたします。</p> <p>各自自己紹介</p> <p>切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進について話し合いをしたいと思う。私たちは在宅を支える人の集まりな</p>

ので、新規入院の方や今まで担当していた方が退院をする際、医療と介護がどのように連携したらその方の在宅生活がスムーズに始められるかという事を話し合うグループ。皆さん立場が違うが、在宅に帰るという事で各職種の立場から、今までこういうことがあった方がよかった、助かった等意見を出して頂きたい。

池畑(利)委員

薬局の立場から、知りたいこと。薬の情報はあがるが、薬を管理している人が誰か知りたい。本人か介護の方か家族か。それによって説明や質問事項があるのでそれを知りたい。後、ケアマネジャーが行っていると思うが、患者の管理を誰が主体で行っているのか知りたい。

桜井委員

退院し、デイケア、外来リハビリ、ショートステイ、訪問リハビリ等で引き継ぐ中、患者の情報の書類が届かず困る。利用者の情報がない中、リハビリを行うことがある。看護サマリー、リハビリの申し送りをしっかりしてもらいたい。

介護リハビリや外来リハビリを行う時に、目標が定まっていなるとどの方向へリハビリを進めればよいのか分からず困る。目標が明確になった中で医療と介護の連携がスムーズに行われると良い。

武藤委員

通所介護の立場から、退院後デイサービスで入浴やリハビリの新規の方を受け入れる時、血圧、脈拍が高いリスクがある。この範囲まで大丈夫というのが事前にわかるとスムーズに介入できる。把握するまで入浴、リハビリを控えるとなるとタイムラグが2週間位できてしまう。主治医から、数値の許容範囲を教えてもらえればスムーズに介入ができる。

食事形態について、退院にあたりどのような状態なのか家族を含めて共有できれば良いと思う。

野口委員	<p>小規模多機能では、通い、宿泊、訪問、3つのサービス事業を1カ所の事業で賄っている。助かったという事は、病院から在宅に戻れないケースで、ソーシャルワーカーと話し、在宅に持っていけるまで退院を延ばし治療を進めてもらい、病院と連携して調整したケースは良かった。</p>
高橋委員	<p>書類等来ていない事があり、既往歴がわからず困る。また、リハビリの方向性が本人と家族で合っていない事がある。方向性を詰めてからの利用だとスムーズに行く。</p>
池畑(信)委員	<p>医師の立場からは、在宅で患者が急変した時、看取りのキーパーソンが急に変わる事があるので、その辺の連携をうまくしてほしい。もともとの紹介先の病院に入院するのが一番良いと思うが、市外等の近隣病院で受け入れに差があるのが問題。</p> <p>退院後の病状説明について、病院と患者、家族でギャップがある。</p> <p>本当のキーパーソンが分からず、危ないという時誰に言えばいいのか困るので、情報共有できると良い。</p> <p>また、在宅医療は病院と全く同じとはいかない事を事前に話しておいてほしい。</p>
清水委員	<p>歯科は食事を考える職業。認知、摂食、咀嚼、嚥下できるかどうかの診断は、歯科でないとわからない。退院時もカンファレンスに参加するべきだが、難しいので、ある程度の資料を送ってもらわないと動けない。</p>
植山委員	<p>医師の立場から見て行田市内は問題ない。情報がなくても聞けばすぐにわかり、連携が取れている。上尾中央、日赤等在宅を知</p>

	<p>らない医師からの重症患者の紹介が困る。嚥下の問題等も記入してある共通のシートがあると良い。医師のみでなく病院内チームが作成し市外からの患者についても連携がとれるようにできると良い。</p> <p>市外の在宅専門診療所より患者を回してくれという話を聞くが、行田市内で医療を完結させたい。</p>
青木委員	<p>退院すると、思ったより動けない。買い物に行けない。移動能力が弱いという方が多い。適切な高さ、厚みのあるクッション、適した椅子を利用すると在宅がうまくいくと思う。</p> <p>デイサービスをしているが、病院に呼ばれないので、退院前や連携支援時等呼んでもらいたい。</p>
江田委員	<p>訪問看護を使いたい方は、事前の打ち合わせで病院に呼んでもらい、顔合わせができれば安心できると思う。創の処置の仕方が先生によって違うため、難しい症例は写真を撮り対処している。処置の仕方等で病院に呼んでほしい。パンフレットがあれば良い。</p> <p>インシュリン注射について事前に病院で指導しているが、その時も訪問看護の立場として、どこまでキーパーソンや利用者が理解しているか見させてほしい。</p> <p>ケアマネジャーが決まったら介護保険の申請をなるべく早くしてほしい。在宅に帰ったらすぐ介護支援できたらと思う。</p> <p>患者に点滴の説明を医師がしているが、訪問でもできるのでよろしくをお願いします。</p>
清水委員	<p>退院時に制度的なものをよく説明しておいてほしい。障害認定の受け方等キーパーソンに伝えてほしい。それによって利用者の自己負担が変わってくる。</p>

江田委員	<p>ターミナルの方や夜間の医師との連絡方法に不安を感じている。</p>
仲上委員	<p>入院後すぐケアマネジャーと連絡をとり、ケアプランを作成してもらっている。退院が近くなると、入院前の時の状態と比べてみて、在宅についてできる限りケアマネジャーと連絡を取り在宅の方向性を決めていきたい。</p>
渡辺委員	<p>在宅にあたり、ケアマネジャーやキーパーソンがいる方は良いが、介護保険を使った事がない方、包括へつなげにくい方、年齢的に介護保険対象外の方、家族がいない一人暮らしの方等は帰宅に不安がある。キーパーソンの確認をし、スムーズな退院調整が課題だと思う。家族やケアマネジャーがしっかりしていると安心できる。</p>
西川委員	<p>参考資料1～3は、退院前のカンファレンス時に病院から渡されたシート。参考1は熊谷生協病院のもの。参考2は熊谷総合病院からのもので、熊谷保健所管内で2年間かけて作られた熊谷市内共通のもの。参考3は循環器呼吸器センターの退院前のもの。書式は病院のもの。参考4は行田市役所から協議会の時にももらった柏市のもの。参考5は広島県もの。参考6は横須賀市のもの。</p> <p>行田市では、ケアマネ連絡会で入院時に共通の用紙を病院へ渡している。植山委員からの意見にもあったように、共通シートを使用してもらえるとケアマネジャーとして助かる。入院時や退院時に質問できるため便利。</p> <p>市で共通のシートを作っていく事が、このグループの役割だと思う。1回目なので、皆さんから意見をもらい、協議会へ持ち帰り協議したい。今後の開催方法は各ワーキンググループに任されている。参加しやすい曜日、時間や頻度があれば聞きたい。今回</p>

	は医師会の関係で木曜日になったが、希望の開催時間等はあるか。
池畑（信）委員	一任する。
植山委員	3つ程候補を挙げてもらえると良い。
溝上委員	議事録をメーリングリストで送るので、欠席時はそれを見て意見を回して欲しい。部会によって頻度は変わる。毎回全員参加は難しいと思う。この議題での検討期間はどれ位が良いと思うか。
植山委員	急いで決めなくて良いのでは。例えば次回までに行田市独自の、色々な項目が入ったシートを作るというなら二か月後ぐらいか。
池畑(信)委員	協議会のメンバーで作るのか。作業部会として作るなら、頻繁に会わなくてはいけない。
植山委員	誰かがレイアウトを作り、それをメールで回したらどうか。
溝上委員	予算がかかるものは、市と相談になる。
西川委員	このグループは、配布物がないので予算はそれ程かからないと思う。まずはシートの元を誰が作るのか。協議会委員ではあるが私たちが作るようにとも、この会で作るようにとも言われていない。今日の意見を協議会に挙げるのかとも思う。
溝上委員	医療介護連携推進協議会で意見をもらい、たたき台を作るとなると次回は2ヵ月後位。
清水委員	いずれにしてもメールを頻繁に流してほしい。

植山委員	1 ヶ月以上前には次回の日程を調整してほしい。
西川委員	次回は11月開催という事で早々に予定を立てたいと思う。
新井委員	次回もぜひ出席して下さい。
全員	ありがとうございました。